新潟開港150周年事業実行委員会

海と日本プロジェクト2018

子ども流域連携体験交流事業参加者レポート

新潟×長野

新潟県の小学生

小学５年生

**栗原希奈〈新潟市立南中野山小学校：5年〉**

**選んだテーマ：C**

　私は川もり海もりプロジェクトへ行く前までは、長野県をとなりの県なのに、そんなに身近にかんじていませんでした。でも今回のプロジェクトにさんかして、川でつながっているけど、気候や地形など、ちがっていることもありました。しかし、長野県の小学生とは方言などの大きなちがいはなく、すぐにうちとけられました。

　新しく友達になった長野県の人達には、私達が暮らす地域は、昔かめだごうというところで、低地で、平らなので、よく水害になやまされていたことを伝えました。

　次に長野県の人に会ったら、長野県の川でいっしょに遊びたいです。

　家族で川や海などに行く時には、自分たちで出したゴミをもちかえることが大切だと思います。海で泳いだ時にも、ゴミがういていて、きけんだと思ったので、そういう時に、かわりにもちかえってあげられる人になりたいです。これからも自然を大切にしたいです。

**佐藤凜音〈新潟市立日和山小学校：5年〉**

**選んだテーマ：A**

　ぼくは新潟市の中央区で生まれており、海はすごい知っていると思っていました。だけどこのプロジェクトに来て分かったことがいっぱいあってビックリしました。知らないことがいっぱいあってはずかしくなりました。

　その知らなかったことは音が鳴る砂があると言うことです。ぼくはそのことを知ってわくわくしてきました。さわってみたら本当になってすごいと思ったです。新潟にもあると聞きすごいと思いました。ぼくは海はあまり関心がなく、無関心だったんですけれどもこのプロジェクトに来て無関心から関心に変わりました。ぼくはこのことをすごくほこりに思います。今度は海のことをみんなに言えるようになりました。

　海もり川もりプロジェクトの方々、ありがとうございました。他にも分かったことはいっぱいあるんですけれども書ききれませんでした。すいません。でもこのことは一生わすれません！海もりプロジェクトのみんなやお友達、長野の子たち本当にありがとうございました。

**清水紀晶〈三条市立長沢小学校：5年〉**

**選んだテーマ：B**

　新潟県の信濃川より長野県の千曲川の方が長い事を知ってとてもおどろいた。なぜなら学習帳などには、「日本一長い川は信濃川」と書いてあったからです。

　長野県の千曲川よりも上流は、どのようになっているのか、今度は自分が調べに行ってみたいです。それと川はどこから始まっているのか、川の流れ始めるところを、その場所へ行って見てみたい。

　川と海はつながっているので、近くの川もとても大きな海とつながっていると思うと、とてもおもしろい。信濃川を流れる物を見ると、千曲川から来たのかな、どこからどんなふうに流れて来たのかと思う。

　海や川には、ビンやカン、ペットボトルなど色々なゴミが落ちているので、見つけたらひろって捨てたい。

　魚などを食べる時、命をいただくということをわすれずに食べたい。

鈴木愛〈上越市立大和小学校：5年〉

**選んだテーマ：A**

　川もり海もりプロジェクトで、2日間長野県と新潟県のみんなといろいろなことを体験しました。まず昼食を食べた後、前に作ったクイズをして、みんなで協力ができました。自分も地形のことを知ることができました。海水浴をしてライフジャケットを着て入るのがはじめてで、とても楽しかったです。カニ探しもはじめてでした。アジも食べたことがなかったのでおいしかったです。アジ以外の魚もじょうずに食べれるようになりたいです。船のことも知れました。

　学習発表会のときは、きんちょうしていたけどうまくできました。海岸に行ったときは、海水浴のとき貝がらをひろって、でっかい貝がらを見つけて楽しくなってきました。

　お風呂はみんなはずかしがらず入っていたので自分もはずかしがらず入りました。起きた時はここどこだとなりました。水理実験場に行ったときは、すごいでっかいプールみたいなのがあってびっくりしました。

　家族や友達に教えてあげたいことは、新潟県には、すごいでっかい船があったこと。学習発表会やその他でみんなと仲良くなれたこと。海に行って海の水はしょっぱかった。バーベキューで班のみんなと仲良くなれたこと。白山は油をかいしゅうしたり二つの仕事があるということ。すなはきれいなすなだと音がなること。アジがきれいに食べられたら他の魚でも上手に食べれるということ。

　白山が油とりをしている船だと知って海を大切にしようと思いました。海に行ってぽいすてがあったので、ぽいすてはぜったいしない方が良いと思った。海をきたなくしないことを注意したいです。

**須田遙樹〈新潟市立鳥屋野小学校：5年〉**

**選んだテーマ：C**

　ぼくは長野県といったら大きいイメージを持っていました。このプロジェクトに参加して、色々な事を知り、イメージ以上に大きいと感じました。

　ぼくは同じ班の友達にぼくの住んでいるところは海抜が海より低いということを伝えました。低いと何が良くて何が悪いのか、そのために何をしているのかをできるだけ分かりやすく説明しました。

　次に会ったときは、このプロジェクトで学んだことが役に立ったかや、何かにいかせたかについて、一緒に話したいです。

　これから海や川をきれいに保つために、まずはポイ捨てをこれからもぜったいにしないこと。海にゴミが流れついて大変になる前に、川のそうじ、家で油をむだに流したりしないなどをしていきたいです。

**髙橋睦喜〈新潟市立女池小学校：5年〉**

**選んだテーマ：A**

　ぼくが今回の川もり海もりプロジェクトで、初めて知ったことは、次の2つです。

　1つ目はしゅんせつ兼、油回収船が日本に3隻しかいないのに、そのうち1隻が新潟港にいるということです。名前は白山です。そんなすごい船が身近な場所にあったのに、今まで気がつかなかったことにびっくりし、ほこらしく思いました。

　2つ目は、波をおこす機械で海岸の研究をしている人たちがいたことです。今まで何も知らずに海で楽しく泳いていたけれど、実はどうしたら波から人を守れるかと安全を考えてくれる人たちの存在を初めて知りました。

　今後、海と日本プロジェクトを、もっといろんな人に知ってほしいと思いますし、新潟開港150周年の記念イベントがあれば、どんどん参加して、もっと日本海、新潟港についてくわしく知りたいと思っています。

**田中悠吾〈新潟市立白根小学校：5年〉**

**選んだテーマ：B**

　ぼくが初めて知ったことは、信濃川（千曲川）は、長野県の方が長いということです。新潟県の方が長いと思っていたけど、ちがったことにおどろきました。ぼくが知りたいことは、信濃川（千曲川）の上流の様子、風景です。森の中なのか、それとも町の中なのかという考えがうかびます。次にぼくの川の見方は、このことに参加する前は、川はどういう役わりをしているか分からなかったけど、参加してみたときに、川って生活していくうえで水をくれたりしているありがたさが分かりました。そして信濃川（千曲川）の土のおかげで新潟市ができたことが分かりました。

　最後にぼくが川や海を大切にしていくためにしたいことは、ゴミを捨てない、見つけたら拾うということをしていきたいし、川や海の魚を大切にしていくことにもチャレンジしたいです。

**外山虎音〈新潟市立日和山小学校：5年〉**

**選んだテーマ：A**

　ぼくが日本海や港について知ったこと、知ってほしいことが二つあります。

　一つ目は新潟技調です。大きなプールは、港をさい現し、波をおこす実験をしています。この実験をして、港を波から守る防波ていを作ったりしています。

　二つ目は「白山」です。白山は日本に3せきしかない特別な船で、しゅんせつ作業はもちろん、船の事故が起きた時に、油を回収するのが、白山です。しゅんせつとは、川の砂や土をとる作業で、これをしないと大きな船が入れません。

　この二つより、もっと多くの港に関わる仕事があるけれど、この二つも港をささえ続けています。港がなければたくさんの食べ物が、とどいていません。もっと港に感謝し、これからも共にくらしていきたいです。

**中村海里〈新潟市立亀田小学校：5年〉**

**選んだテーマ：B**

　ぼくは川もり海もりプロジェクトに参加してたくさんのことを学びました。その中で一番印象に残ったことは千曲川と信濃川についてです。印象に残ったことは2つあります。

　1つ目はばんだい橋についてです。ばんだい橋は大きな水害にもたえ、その水害では27個もの橋がばんだい橋にぶつかったけど、たえたということがすごいなと思いました。

　2つ目は千曲川と信濃川では千曲川の方が長いということです。ぼくは新潟の信濃川もとても長いのに千曲川の方が長いということにとてもおどろきました。

　もっと知りたいことは、信濃川（千曲川）にはどんな生き物がいるかを調べてみたいです。

　今回知ったことで、ふだんのくらしや考え方がどんなふうに変わったかというと、川や海にごみをすてないようにすること。

　今後チャレンジしたいことは、つりでいろいろな種類の魚をつってみたいです。

**波多野匠〈新潟市立紫竹山小学校：5年〉**

**選んだテーマ：B**

　信濃川という名前の川の方が、きょりは長いと思っていたのに、千曲川という名前の川がきょりが長いことにおどろきました。理由は「信濃川のきょりは日本一だ」などと水道局のパンフレットに書いてあったからです。

　もっと知りたいことは、海だけでなく、川にどんな生き物が住んでいるのか。また、魚の他にも、新潟や長野には、どんな生き物が住んでいるのかをくわしく調べたいです。

　長野の子供達が海に感動していたので、僕たちは新潟に海があることに、ほこりをもって生活していきたいです。また、長野の子供たちは、源流があることにほこりをもってくらしてもらいたいです。

　今後海や川を大切にするためには、海や川には絶対にゴミを捨てないこと。魚がたくさんとれることに感謝したいです。そして、山、川、海とつながっていることを意識して、自然を大切にして、生活していきたいです。

**早川稚琉〈新潟市立下山小学校：5年〉**

**選んだテーマ：B**

　私は今まで、日本海から流れて来た川が長野県に入って「千曲川」という名前に変わるんだと思っていました。だけど長野県の子が、太平洋から流れて来た川が新潟県に入って「信濃川」という名前に変わるんだよ、と教えてくれました。その子のおかげで、今まで知らなかった長野県のことも、千曲川のことも、よく分かりました。

　とても良い機会になりました。

小学６年生

**牛木真尋〈新潟市立坂井輪小学校：6年〉**

**選んだテーマ：A**

　今回初めて知ったことは、新潟技調が私たちの暮らしや港の安全を守っていることです。今回の川もり海もりプロジェクトで、新潟技調のいろいろな仕事を知り、私たちの安全を守るためにいろいろな事をしてくださっているということを学びました。新潟技調のスタッフさんの話を聞いて、この仕事は港の模型を造ったりするので、大変だと実感しました。

　家族や友人に、新潟技調はかげで港や人々の暮らしを支えているということを伝えていきたいです。

　今後、海や川に感謝し、海や川に関わる仕事について調べたいです。私がまだまだ知らないこともたくさんあるので、海や川に関わることについて調べて、知識を深めていきたいです。

　今回はきちょうな体験をさせてくださり、本当にありがとうございました。

**織原和保〈三条市立保内小学校：6年〉**

**選んだテーマ：B**

　川もり海もりプロジェクトに参加して、今回長野県では、信濃川を千曲川とよぶことを初めて知りました。新潟県の信濃川は長野から流れてきていることは知っていましたが、川の名前が変わることは知りませんでした。

　もっと知りたいことは千曲川に生息する魚や生き物のことです。長野県に行って千曲川を自分の目で実際に見てみたいと思いました。長野には年に一度行くことがありますが、川をじっくりと見たことはなかったので、次に行くときは川の様子をじっくりと見てみたいと思います。

　ふだんは川を意識して生活することはあまりないですが、プロジェクトに参加して、環境問題について自分で調べたり、川や海の環境を守るために自分ができる工夫を考えていきたいと思いました。

　これからは、海岸清そうや、川のごみ拾いに積極的に参加して、海や川をきれいに保っていきたいと思います。

**佐野渚月〈燕市立吉田小学校：6年〉**

**選んだテーマ：C**

　私はキャンプに行く前、長野県の人は勉強が好きで、真面目な人が多いと思っていたけど、そんなことなくて、明るくて、おもしろくて、優しい人が多くて、話しやすくって、とてもイメージが変わりました。そして私は長野の人に、心優しい人が多くて、自然がたくさんあって、とても空気がきれいだということを教えてあげました。そうしたら「新潟ってすごくいいところだね！また来たい！」と言ってくれました。そして今度、長野にいる友達と会うことになったら、また同じようなキャンプで、長野に行きたいし、千曲川に行きたいです。そしてみんなで思い出になる物を作りたいです。

　今後、海や川に感謝して、やりたいこと、チャレンジしたいことは、よくテレビなどで見るゴミ拾いなどに参加したいと考えています。もし参加していなくても、もし、海や川に行ったら、自分からゴミを拾っていきたいです。そして今回のようなキャンプやイベントに参加をしたいです。

**白井琉嘉〈南魚沼市立栃窪小学校：6年〉**

**選んだテーマ：A**

　ぼくは、この日本海と新潟港についてで思うことは、四つあります。

一つ目は、ぼくがすんでいる地域は、港とか海は、あまり親しみがなく、こっちでは魚野川という川なので、海や港のことを知れてよかったです。

　二つ目は、今回の体験をしてでは、あーやっぱり海で遊ぶとか何かをするのでいいなあと思いました。

　三つ目での教えてあげたいのは、海などの事故予防は、かなりばっちりだから安心してというのと、テトラポットの本当の名前を教えたり、じまんしたいなと思いました。

　四つ目は、ぼくはこれから、ここから一万年先まで、海や川の大切さを続けていきたいなと思いました。

**杉原心愛〈新潟市立木戸小学校：6年〉**

**選んだテーマ：B**

　私は今回、千曲川が信濃川より長いと知っておどろきました。信濃川は新潟県のシンボルなのに長野県の千曲川が半分以上をしめていたので、千曲川はすごいなと思いました。千曲川は見たことがないので、長野県に行って、千曲川が信濃川とどのようにちがうのかを知りたいです。信濃川は千曲川があるおかげで日本一長い川になっています。今までは身の周りの事しか考えていなかったけど、今回広いはん囲まで見ることで、新しい発見があったので、見るはん囲を広げることはとても大切なことだと思いました。そして新潟港湾空港技術調査事務所水理実験場の資料で、鳥が船の油で油まみれになっているのを見て、かわいそうだなと思いました。生き物に害をあたえないためにも、海や川を汚さないためにも、船の油と同じように、家庭で生活排水の処理の仕方に気を付けようと思いました。

**高井麻那〈燕市立吉田北小学校：6年〉**

**選んだテーマ：B**

　千曲川、信濃川について。私は今回の川もり海もりプロジェクトで、千曲川や信濃川、新潟や長野のことをたくさん知りました。その中で一番おどろいたことは千曲川が信濃川より長いという事です。日本地図から見ても、新潟は長野より長そうなので長野の方が長いという事にびっくりしました。ということで、いつか千曲川（信濃川）のはじまりを見てみたいと思いました。スタッフさんから、千曲川（信濃川）が運んだ土砂によって新潟の土地が増えたという事におどろいて、新潟の見方が変わり、魚の化石でも出てくるかな？と思いました。今、自分たちが住んでいる土地が川の土砂によってできた、と思うと川に感謝しました。

いつか川のそうじなどのボランティア活動があったら、ぜひ手伝いたいと思いました。最近、川や空気の汚れで、暑い日が続いたりしているので、少しでいいから、なくなってほしいなぁと思いました。

**平松弘資〈新潟市立江南小学校：6年〉**

**選んだテーマ：B**

　今回、この川もり海もりプロジェクトについて、まず今回初めて知ったこと、おどろいたことは信濃川の長さのことです。新潟といえば信濃川！！！という人も多いでしょう。なぜなら信濃川は日本一長い川だからです。一般的にも信濃川とよばれています。でも長野県では千曲川よばれているんです。でもさらにおどろくことは、信濃川より千曲川の方が長いということです。信濃川は全長367㎞です。長野側は214㎞、新潟側は153㎞なのです。

　次にもっと知りたいことは、もっとも深いところはどこか知りたいです。もう一つは信濃川に合流している川の数も気になります。次に今回知ったことで、ものの見方がどんなふうに変わったかというと、今まで信濃川の生き物などに興味を持ってたけど、これからは千曲川にも興味を持ちたいです。

　最後に今回のプロジェクトで海に行ったとき、ごみなどあったので、ごみを出さずに、大切な海やじまんの信濃川、千曲川を大切にしたいです。

**前田悠哉〈新潟市立大形小学校：6年〉**

**選んだテーマ：A**

　ぼくが今回初めて体験したことは、海水浴で、魚は見たことあるけど、貝は初めて見たことです。白い貝や、あさりみたいな貝などいっぱい見ました。貝にはこんなにたくさん貝がいたのにおどろきました。家に帰ったら貝の図かんを見ました。

　合宿に行って、こういう経験ができてよかったなと感じました。新潟港湾空港技術調査事務所の水理実験所でたくさん学びました。よく海にあるブロックは波消しブロックというのを初めて学んだので、それを友人に伝えたいと思いました。水理実験所は日本にあまりないと聞いておどろいたので、お母さんやお父さんに伝えたいと思いました。

　今後、海や川に感謝し、大切にするためには、海や川にゴミを捨てないで、海や川について、たくさんの人に知ってもらいたいと思います。クラスや地域の人に、海や川のことについて伝えるようにチャレンジしたいと思いました。　また合宿に行きたいと思いました。

**道下倖汰〈新潟市立大通小学校：6年〉**

**選んだテーマ：B**

　ボクが長野県の5、6年生との交流を終えて、千曲川・信濃川のことについて思った四つのことについて述べます。

今回ボクは初めて、信濃川よりも千曲川の方が長いということが分かりました。ボクは日本で一番信濃川が長いと思っていました。でも日本には信濃川よりも長い「千曲川」というのがあるのを知り、とてもびっくりしました。そのときボクは、出身地の川「信濃川」が負けたと思い、少し残念でした。でも日本には上には上がいるという事が分かり、とてもいい勉強になりました。

　今回、千曲川のことについて知ったことで、普段から川を大切にあつかったり、川に落ちているゴミを自分から積極的に拾うようにしたいです。

　今後、海や川に感謝し、特にボクは海や川の魚を大切にしたいと思います。海や川の魚がいるおかげで人々の命があるのです。なので、海や川の魚を大切にしたいです。

長野県の小学生

小学５年生

長野県の小学生

**赤瀬舞〈信州大学教育学部付属松本小学校：5年〉**

**選んだテーマ：B**

　今回初めて知ったことやおどろいたことは、千曲川は信濃川という事です。私は最初、それぞれ違う川だと思っていました。でも説明会へ行ったら、千曲川は長野県を流れている時の名前で、信濃川は千曲川が新潟県を流れている時の名前と初めて知っておどろきました。

　もっと知りたいこと、調べてみたいことは、どれぐらいの山の角度で川が日本海側へ流れるか知りたいです。もし信濃川が太平洋側に流れていたら、今の新潟の地は無かったそうです。だからどれぐらいの山の角度で日本海に流れたのか知りたいです。

　今回、千曲川、信濃川の源流の事を学んで、あまりいつも川の源流を考えることが無く、何も川に感じていなかったのが、「源流から長い道のりをよく来てくれたな。」という思いに変わりました。

　行動したいこと、チャレンジしたいことは、油をそのまま流さないよう家族によびかけることです。油を流すと川がきたなくなってしまいます。その事も一緒に伝えながら、よびかけをしていきたいです。

**大森匠〈長野市立大豆島小学校：5年〉**

**選んだテーマ：A**

　今回初めて体けんしたことは、海に入ったことと、つりもして、楽しかったことです。海で夜にバーベキューしたことと、キャンプファイヤーをやったことと、カニさがしをしたことが楽しかった！！その時、キャンプファイヤーでみんなと仲良くなったきぶんだったです。海のすなはまは、ごみだらけで、びっくりです！！かんで、切ってた人もいて、あぶないと思った！！これから大切にしていくために、ゴミ拾いしていきたいと思います。これからもゴミを捨ててほしくないです。だから「ゴミをもちかりましょう」というカンバンをつくったり、海に来た人に、ゴミぶくろをわたして、ゴミをもちかえってもらったりして、ゴミをへらしたいです。ゴミをへらして、かんきょうにいい海にして、みんなが楽しくおよげる海にしたいです。

　そして魚にもやさしいかんきょうをつくり、魚があんしんして、くらす海にしたいです。

**小林里菜〈長野市立芹田小学校：5年〉**

**選んだテーマ：A**

　今回、初めて知ったことは、波消しブロックはしっかり実験してから、波消しブロックを作って、船などではこんでいること。船がばくはつしたときは白山で油などをとっていたり、船がばくはつしていないときは千曲川、信濃川からながれてきた土をとっているそうです。白山が土や油をとることを初めて知ってすごいなと思いました。波消しブロックでほんとうに波がすこし低くなってとってもすごいなと思いました。

海や川にゴミをすてると川がきたなくなって、それが海にながれてきて海がきたなくなって、ちょくせつ海にゴミをすてると海と川がきたなくなってしまうので、すてないように心がけてほしいと思った。

　今回、新潟の海に行って泳いでいたら、たったしゅんかんゴミをふんでいたかったので川や海にゴミをぜったいにすてたくない。海がきたないと魚などが死んじゃったらかわいそうだからやめてほしい。今後、海や川に行ったら一つのこらずゴミひろいをして、海や川をきれいにしたい。そして鳴り砂が新潟の海にもまたできるといいなあと思った。

**滝澤勇輝〈私立才教学園小学校：5年〉**

**選んだテーマ：A**

　このプロジェクトで、初めて体験したことは、海水浴・カニとり（ほかにもたくさんあります）です。

ぼくは海を見たり、入ったことはあったけど、泳いだことは一度もありませんでした。その時感じたことは、やっぱり海の水はしょっぱいということと、海を深いとは思っていたけれど、海水浴場周辺は、水が浅かったです。他にも、砂がたくさんあることは知っていたけど、あんなにくつにくっつくとは思いませんでした（笑）。

　カニとりは（最初は食べられるとと思っていましたが…）意外とカニのすばしっこさにおどろきました。

　ぼくが家族、友人に教えてあげたいことは、新潟技調のこと・魚のきれいな食べ方など、プロジェクト中に分かったことです。（ぼくとしては、もちろん②も入れたいのですが…）

　今後、海・川に感謝し、大切にしていくために、ぼくは川にごみを捨ててはいけないと考えました。川にもひ害が出るし、下流の海にもひ害がおこると思ったからです。

**千原奈々〈長野市立川田小学校：5年〉**

**選んだテーマ：B**

　つりで、最初は、あんまりつれないだろうな。と思ったけど、すぐにつりざおの先が動いていて、見たら魚がたくさんつれていたことがおどろいた。

　テレビとか絵で、きれいなめずらしい魚がいるけど実際に行ってみたら、小さい魚しかいないことを知った。

　また海に行った時にプロジェクトで知ったことを頭にいれときながら遊びたい。

　今後、海や川を大切にしていくために、ゴミを海の中に入れない。きれいなかわいい貝がらを拾ったらキーホルダーにしたり、家にかざったり、友達にプレゼントしたりしたい。

**築田莉果〈長野市立下氷鉋小学校：5年〉**

**選んだテーマ：A**

　私は「川もり海もりプロジェクト」に参加して学んだことが二つあります。

　一つ目は、海岸にあったゴミです。私の家の近くの川には、野菜や草、食べ物の包み紙が流れてきます。でも海には外国から流れ着いたゴミが、たくさんありました。きっとゴミが海にたどりつくまでに、片づけをする人がいるのだと思いました。ゴミがきれいな海を台なしにしていることを多くの人に伝えたいと思いました。そしてゴミはすてないようにしようと思います。

　二つ目は、船の役割です。私は船は漁をしたり、人や荷物を運ぶだけだと思っていました。でも、「白山」という船は、航路をい持するために、土砂をほったり、事故で海に流れた大量の油を回収します。白山のことを、家族や学校の友達に伝えたいと思いました。

　このプロジェクトに参加して、最初は不安だったけれど、すぐに友達ができてとても良い思い出になりました。

**長坂楓子〈長野市立芹田小学校：5年〉**

**選んだテーマ：A**

　今回の川もり海もりプロジェクトで初めて知ったことは、カニが夜行性だということと、海にごみがすてられていることです。カニさがしでぜんぜん見つからない時、小さい穴を見つけました。聞いてみると、カニがいるそうです。でも光をあててしまうとでてこないそうです。

海にごみがおちていました。おかしのふくろやペットボトルのラベルなどがすてられていました。ひどいなと思いました。

　家族や友人に伝えたいことは海や川にごみをすてないでほしいです。海に、いっぱいごみがくると魚たちが住みにくくなってしまうので気をつけてほしいです。川にごみなどをすててしまうと水がきたなくなってしまい、もっとごみがふえてごみだらけになると、飲み水が作れなくなってしまうので気をつけていきたいです。

　今回の学習で、海・川の大切さがとってもよく分かりました。ごみをすてないことを気をつけ、いつまでもきれいな海を保っていきます。

**中島舞華〈長野市立川田小学校：5年〉**

**選んだテーマ：A**

　私は今回、海づりを初めてやりました。最初はつれたと思って、つり上げたのですが、魚がいなくて、全然つれませんでした。すごく残念でした。だから、先生をよんだら、その先生が一緒にやりながら、つりのコツを教えてくれました。そのコツは、エサを入れたものを海に入れて、ちょっと上げ下げをくりかえしてやると、エサがちらばり、つりやすくなるそうで、先生と一緒にやってみると、いっきに三びきもつれました。その時私は、こうやってつれるのかーと思ったし、すごくうれしい気持ちでいっぱいでした。その感覚を忘れずにやったら、つれたのですが、にげてしまって残念でした。お母さんも友達もたぶん海づりをしたことがないので、私が教えてあげたいです。

　また、海や川にごみを捨てないことや、海や川におちているゴミをとったり、拾ったりすることや、水のむだ使いをしないように気をつけることも、友達にもつたえたり私もこのことに協力したいです。

**林くるみ〈上田市立北小学校：5年〉**

**選んだテーマ：C**

　私は、川もり海もりプロジェクトで出会った仲間とまた会えたら、こんどは長野県に来てもらいたいです。

　そうしたら、千曲川でたくさん遊びたいと思っています。

　それから、また勉強してからもう一度、川や海で遊んだり、ちがうしせつを見学したいです。

　これまで、となりの新潟県に、私は新潟イコール海しか考えていませんでしたが、その海までつながっている川が千曲川（信濃川）であることを考えると、千曲川にごみを捨てると、千曲川も日本海もよごれてしまうことになるので大変です！！

　今後は、川を大切にして、絶対に川も海にもごみを捨てない&捨てているのを見つけたら注意するを心がけたいです！

**宮川恵梧〈長野市立昭和小学校：5年〉**

**選んだテーマ：A**

　ぼくは、年に数回海水浴に行きますが、海釣りや海辺のバーベキュー、夜行性のカニをつかまえることは、初めてでした。海釣りでは、アジ釣りに挑戦しました。釣り糸の先に、くちばしのような物が付いていて、甘えびをはさんで釣る方法です。ぼくは静かに釣り糸が引かれるのを待っていましたが釣れませんでした。今度釣れるように挑戦したいです。　夕方海辺でバーベキューをしました。夕日がとてもきれいでした。サザエ、ウィンナー、トウモロコシなどを友達になったばかりの長野と新潟の仲間と夕日を見ながらおいしくいただきました。　今度は家族でやってみたいです。　次に夜行性のカニを捕まえに行きました。辺りはまっ暗で懐中電灯を使ってテトラポット周辺を捜しました。カニが砂の穴から出て来たので捕まえようとしたけど、素早く穴へ逃げてしまいました。カニに負けないくらい素早く手で捕まえて、7～8匹捕まえました。とても海のことが好きになりました。

**山崎芽生〈須坂市立井上小学校：5年〉**

**選んだテーマ：A**

　「やったー。つれた。」

と、一回目に、大きい魚がつれました。それから、合計で4ひきつることができました。つりをする前に、海にえさをたくさんまくということをはじめて知りました。私にとって、これが初めての魚つりだったので、魚をつることができて、とてもうれしく、とても楽しかったです。

　私は、みんなに知ってほしいことがあります。それは、みんなのくらしは、川とつながっているということです。千曲川の流れをたどっていくと新潟県とつながることがすごいと思いました。

　川や海を守るために行動したいことは、ゴミをすてないということです。ゴミをすてると川や海にいる生き物が傷ついたり死んでしまったりするからです。川や海をよごさないことが大切です。友達にも川や海の大切さを教えてあげたいと思います。一人の力だけではできません。だから、みんなで力を合わせて、川や海をきれいにしていきたいです。

**義家琴葉〈長野市立川田小学校：5年〉**

**選んだテーマ：A**

　初めて海に入った。泳いでいくうちに、温かい所と冷たい場所があった。なぜ、一定温じゃないのか不思議に思った。初めて海に入ってもぐってみたら海水が口に入り、とてもしょっぱくて鼻がツーンとした。箱メガネで水中を見てみると、水族館でしか見たことのないようなしま模様の魚がいた。

　お魚マイスターに教わった魚の食べ方を家族に教えてあげたい。知ってほしいことは、高速バスで新潟に入った時の景色が緑の大地（田んぼ）が広くあったこと、その稲穂が風になびいてとてもきれいだったこと。

　川や海を大切にするためには、まず、川は海に流れついているので、私たちができることは、近くの川をよごさない、ゴミを拾うことがすぐできることだと思う。チャレンジしたいことはカヌーに乗って海まで川をつたって行ってみたい。ビンにお手紙を入れて仲良くなった新潟県のお友だちにとどけたい。

**依田日瑶里〈長野市立川田小学校：5年〉**

**選んだテーマ：C**

　わたしは、「川もり海もりプロジェクト」でたくさんの友だちができました。新潟の友だちは、やさしい子たちかなというイメージがありました。でも今回、みんなとすごすと、やさしくて、おもしろい子たちがたくさんいました。新しくできたお友だちと、自分の住む町を紹介しました。わたしの住む町は自然が豊かなので、自然のことをとくに教えました。

　川の上流、下流の友だちとまた会えたら、わたしの住む町にしょうたいしたいです。そしていっしょに遊びたいです。

　今回学んだことを通して、川をよごせば、海もよごれてしまうことが分かりました。だから川や海をよごさないようにしたいです。

小学６年生

**赤木文香〈長野市立三本柳小学校：6年〉**

**選んだテーマ：C**

　私は、川もり海もりプロジェクトに参加して、新潟県に住む人と友達になりました。会うまでは、海で泳いだり、つりをしたりして、日焼けしているイメージがありました。しかし、実際に会って、「海でよく遊ぶの？」

と聞いたら、「あんまり海には行かないよ。」

と言っていて、イメージとちがって、ビックリしました。

　私の住む地域では、川中島白桃という甘い桃が有名だと新潟の友達に紹介しました。みんなは桃が好きみたいで「いいなー！食べたいなー！」

と言っていました。

　今回は川の下流である海に行ったので、次回は川の上流に行って、水の水源を一緒に探してみたいです。

私の家の近くには、さい川が流れています。川の水はにごって、ゴミが流れているのを見ます。河原でゴミを拾って、きれいな川にしたいと思います。

**小川心温〈長野市立南部小学校：6年〉**

**選んだテーマ：B**

　ぼくは生まれてからずっと長野県にすんでいますが、今回はじめて知ったことやおどろいたことがたくさんありました。

　日本一長い川の信濃川は新潟よりも長野の方が長いこと。源流の水源地が川上村にある甲武信岳ってこと。千曲川には昔、さけがいたこと。一番びっくりしたのが、江戸時代に戌の満水という大きな洪水があったことです。水は6.4ｍの高さにまでなったなんてしりませんでした。　川は豊かな恵みももたらせてくれるけど洪水になったらたくさんの人の命をうばうことになるからこわい所もあるなと思いました。

　千曲川は新潟の海につながっているのできれいな水がいくようにきれいな川にしていきたいです。　新潟の海はきれいでした。初めての魚つりはつれなかったので次はつってみたいです。カニも見つけられなかったのでまた新潟に行きたいです。いつまでも魚やカニがいるきれいな海でいてほしいと思います。

**小関そら〈御代田町立御代田南小学校：6年〉**

**選んだテーマ：B**

　7月21日㈯に、長野県で知られている千曲川は甲武信ヶ岳から始まっていました。

　長野県では千曲川、新潟県では信濃川とよばれて、その後日本海につながっていることを教わりました。　その時、川の長さは、信濃川より千曲川の方が長いと知りびっくりしました。私は、信濃川の方が長いと思っていたからです。なぜ、信濃川より千曲川の方が長いのに、信濃川の方が知られているのか、調べてみたいと思いました。

　橋があると、木やゴミなどがこうずいで流れてくると、橋でひっかかり、ダムになってしまうから、雨が多いのも、川にはよくないなと思いました。

　海や川を大切にしていくためには、つりなどで出たゴミは自分たちでもち帰り、ポイすてをやめれば、海や川もきれいになると思うので、みんなで自然を大切にしていきたいです。　一泊二日ありがとうございました。とても楽しかったです。

**神戸優翔〈千曲市立東小学校：6年〉**

**選んだテーマ：A**

　今回この川もり海もりプロジェクトに参加してみて、初めて体験したことは海水浴です。海水浴をしたのは初めてでおぼれないか心配だったけど、思ったよりもこわくなかったし、よく海水浴に行く友達が教えてくれたから安心して泳げました。その時の気持ちは、少しの間楽しく友達といっしょに泳いでいたら、足の下に魚がたくさん泳いでいてビックリしました。海水浴に行くとすごく近くで魚が見れるし、ふれあうことができることが分かったから、また今度は家族といっしょに海水浴に行きたいと思いました。

　家族や友達に教えたいことは、アジの食べ方です。うまくアジの骨を取ってあげたら、家族が喜んでくれると思うからです。　今後チャレンジしたいことは、釣りです。今回は一匹も釣れなかったからまた新潟に行って大きい魚をたくさん釣りたいです。

　今後大切にしていくことは、川にゴミがあったら拾って川などをきれいにすることです。

**小林圭祐〈小諸市立水明小学校：6年〉**

**選んだテーマ：A**

　ぼくは初めてつりをしたわけではありませんでした。しかしそれはいけでニジマスをつることです。しかし一回から二回うみづりもしました。でもここまでおぼえていられるのははじめてです。まだつりのしかたをおぼえています。そのときのきもちははやくつりたいでいっぱいでした。しかしぜんはんだったのでつれませんでした。しかしこうはんはたくさんつれたそうなのでともだちやかぞくにもつれるよっていいたいです。魚がしなないように日ごろ川にゴミをすてないことをしてみたいと思います。

**袖山泰生〈千曲市立東小学校：6年〉**

**選んだテーマ：A**

　今回川もり海もりプロジェクトに行って日本海で体験したこと、知ったことは、

まず、最初に知ったことは海に来て海水浴だけでなく浜でできる遊びもあるということです。

たとえばビーチフラッグ、カニ取り、スイカ割り、BBQなどたくさんの浜でできる遊びもあります。

　次に、体験したことは釣りです。釣りはエサをたらしておくと、とてもたくさんの魚がよってきておどろいたしおもしろかったです。でも小さい魚だけでした。こんど釣りをするときは大物を釣りたいです。大きい魚は浜より少し遠くにいるのかなーと思いました。

**早川遥〈長野市立三本柳小学校：6年〉**

**選んだテーマ：C**

　新潟県は、あまり知らない、縁遠い、関わりづらいというイメージを持っていたんですが、このプロジェクトに参加して、けっこう考えの似ている人もいて、あまり長野県民と変わらない人だなぁと感じました。

　長野県のこわい話、軽井沢大橋と七曲りの切りかぶの話をして、紹介しました。

　また会えたら、最近あったことを話したり、ムダ話をして、遊びたいです。やりたいことは、プールに行って思い切り泳いで遊びたいです。

　海や川でゴミを見つけたら、ひろうこと、ゴミを捨てないことを心がけたいです。なるべく水をムダにしないようがんばりたいです。

**前山ゆきの〈長野市立篠ノ井西小学校：6年〉**

**選んだテーマ：C**

　私は千曲川・信濃川について学び、「川は大切にしないとな」と思った。理由は、信濃川は長野県から新潟県を通って日本海へ流れこむことを知って、「私たちが千曲川をきたなくしたら、新潟の人たちはとてもいやなきもちになるんだろうな～」と思ったからである。上流の私たち長野県民は、上流だから川がきたないことは少ないと思う。だが自分たちが気にならないからといってゴミをすててしまうと新潟県の信濃川流域の人は上流の人たちが捨てたゴミできたなくなった水に大めいわくする。新潟の人たちはその水を使って生活する人もいるだろうし、もし自分がそういう立場だったら自分も絶対にいやな気持ちになるだろう。

　だからこそ、そういう今回学んだこと、考えたことを家族やクラスのみんなに伝え、川を守り、新潟の人にも長野の人にも川のことをもっと伝えたり知ってもらったりしていきたい。